

序

2012年4月に第1弾の「画像診断に絶対強くなるワンポイントレッスン～病態を見抜き、サインに気づく読影のコツ」、2016年2月に第2弾の「画像診断に絶対強くなるワンポイントレッスン2～解剖と病態がわかって、読影のツボが身につく」を発売したが、このたび7年近い歳月を経て第3弾の「画像診断に絶対強くなるワンポイントレッスン3～何ひとつ見逃さないための読影のポイント！」を発売することになった。本書は「レジデントノート」誌2020年6月号～2022年4月号までの間に「画像診断ワンポイントレッスンPart3」と題して連載された12本の原稿をベースとし、それに新規原稿を3本追加して、1冊の書籍としてまとめた。第1弾、第2弾の書籍と同様、研修医、若手放射線科医、指導医の3者のカンファレンス形式の会話を楽しみながら読んでいくうちに、自然とその画像診断の重要ポイントが身につくように構成されている。

今回の書籍では、日本赤十字社医療センター在籍もしくは出身以外の放射線科医の先生をはじめゲスト執筆者としてお迎えし、「全身性疾患と中枢神経」において、この領域のわが国の第一人者である一色 彩子 先生にご執筆いただいた。一色先生には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。この「全身性疾患と中枢神経」というテーマにも代表されるように、本書では幅広く、多角的な観点から画像診断のポイントを身につけていただくことを目標としている。

また第1弾、第2弾の書籍と同様に、「知っておくと役立つ!! ポイント INDEX！」と題して「画像解剖のポイント」、「画像診断のポイント」、「知っておきたいサイン」、「知っておきたい病態」の4項目に絞って一覧にまとめた。“もう1つの索引”として本書で知識をまとめたり復習するのにご活用いただければ幸いです。

本書が画像診断に興味をもっていただく足掛かりの本として、またすでに画像診断に興味をおもちの先生方はその知識や造詣を深める本として、さらに一度読破していただいた後は、おのおのの臨床現場にて典型・非典型的の画像や病態/サインを参照する座右の書として、多くの先生方にご活用いただけることを願って

おります。

最後に「レジデントノート」誌の連載から本書の企画・発刊まで誠心誠意取り組んでいただいた羊土社編集部員の保坂早苗氏、清水智子氏、深川正悟氏はじめ多くの編集部スタッフの方々に厚く御礼申し上げます。

2022年11月

扇 和之

「画像診断に絶対強くなるワンポイントレッスン」の初巻が発売されてから、早10年が過ぎた。このたび、第2巻に引き続き、第3巻を発刊することができたのは、本シリーズが多く読者に支持されてきたからに他ならない。ありがたいことに「画像診断はまずこの本から勉強した」という声を数多くいただいている。

今回も「会話形式で読みやすい」、「初心者にもわかりやすい丁寧な解説」という特徴を引き継いでいる。また、本書を読むことで、画像診断のみならず、その疾患に関連した解剖や病態まで習得できるようになっている。

本書では、CTが撮影されることの多いシチュエーション、読影のカギとなる画像所見、見落としとしてはいけない重要疾患などについて解説した。具体的には「熱源精査」、「異常ガス」、「肺結核」、「COVID-19肺炎」などのテーマを扱っている。その他、「骨シンチグラフィ」に関しても基本的な内容から説明しており、放射線科レジデントにも役立つ。

全体として、第1巻と比較するとやや発展的な内容も含んでいるが、項目ごとにレベル分けをしてあるので、必要な部分から読み進めることもできる。本書が多くの人役に立てば幸いである。本シリーズを読破する頃には、きっと画像診断の虜になっているだろう。

本書の発刊に尽力いただいた、清水智子さん、深川正悟さんをはじめ、羊土社の方々に心より感謝を申し上げます。

2022年11月

堀田昌利